

久納会計 FAX ニュース



Kunoh Accounting Office
久納公認会計士事務所

2019年1月号 今年はどうなる

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。今回のテーマは例年通り、干支から考える今年の予想です。ちなみに今年の干支は己亥（きがい、つちのと・い）です。

己の表すもの

己は樹木の生長過程を表す十干の6番目に位置し、曲がった物が頭をもたげて伸びようとする様子の指示文字となっています。また、「3本の横の平行線を持ち、その両端に糸を巻き、中の横線を支点とする糸巻き」の象形ということもあり、そこから糸がもつれている時、その一端を取り起こして整理する、端緒を付けるという意味もあるようです。転じて、放置された物に対して整理の端緒を引き出してくる動作を「改」という言葉で表すようになるとし、「改」は元来「起」と同系で、己、起、改、興、を単語家族としており、共通意義は、「曲がった物が伸び立つ」となっています。こうしたことから、己は、絡み合った状態を整理して、新しい時代を進展させる働きを表すようです。

亥の表すもの

亥は十二支の末尾となります。一般には猪の象形文字とされていますが、亥とは骸（骨ぐみ）や核（シン）などの原字で、動物や植物のシンにあって全体に張りわたった固い骨組みを示しているとされます。古書では亥は「百物を収蔵する」、「物質堅核と成る」の意と説明しています。

つまり亥は「核」の意味に使用されています。亥は陽気がまったく地中に入り、陰極まって地中に微陽が起っている状況を示すとされています。そこから亥には根ざす・きざす（萌す・兆す）と

いう意味が生まれます。このように亥は核であって植物が実となって核を形成し、エネルギーを凝縮、集積している様子であり、又万物が冬となって陰極まり、陽気が地下に根ざし蠢動（しゅんどう）した姿を示す字とされています。

つまり亥は核と同義で一は上を表し、下の部分は男女が二人並んで何かをはらんでいる貌（かたち）を表しています。いずれにしても「何かを生もうとしている」「いろいろのエネルギー問題をはらんでいる」ということを意味しており起爆性を含んでいるわけです。

こうしてみると、己にしても、亥にしても何事が起こることを暗示しているように感じます。それも、複雑に絡み合った状況を整理して、次の時代に続くようなこと、あるいは今まで蓄積されてきたエネルギーが一気に吹き出すような何かが起きそうに感じます。それでは、次に60年前と120年前の出来事を見てみます。

60年前1959年（昭和34年）の出来事

この年は、いろいろ動きがあった年です。4月に現・天皇陛下と美智子妃殿下のご結婚がありました。その他には特にメディア的なことが多いようです。NHKの教育テレビが放送開始、現・テレビ朝日、フジテレビ、毎日放送などが開局、地方のテレビ局も続々開局しました。また、少年マガジン・少年サンデーが創刊された年でもあります。日産のブルーバードもこの年に発売され、世界的に名機といわれたカメラのニコンFもこの年に発売されました。世界的に大きな出来事はキューバ危機があったことです。

中部地区にとって、一番大きかったのは9月に伊勢湾台風が襲来したことでしょう。死者5,041人、

被害家屋57万戸という大災害でした。ちなみに私の学年は、ちょうどこの伊勢湾台風の前後に生まれた学年になります。学友の中には襲来の当日生まれが2名あります。

120年前1899年(明治32年)の出来事

この年はあまり日本国内では動きがなく、東京大阪間で長距離電話が開通したくらいようです。世界的にはオランダのハーグで平和会議が行われた年になります。

今年の予想

今年は何かが起こる年となりそうです。それも今後の進む方向を示すようなことが起きるような暗示があります。

「混乱したことが整理されていく」という観点では、国内よりも海外の問題の方が大きいように思います。混乱の大きな原因はトランプ大統領とイギリスのEU離脱でしょう。干支からの暗示通り、これらが整理されて、良い方向に向かえば幸いなことです。

国内的には、それほど混乱は見当たりません。60年前の日本では、新しい時代を進展させるようなメディアの開設、新製品の発売などがありましたし、120年前も東京・大阪間の長距離電話の開通など、その後の発展に続くことがありました。ということは、今年もそうした動きがあると考えた方が良さそうです。

ただ、60年前の伊勢湾台風からの連想としては、今年もまた大きな災害が起こる年になるかもしれません。

会社の経営や個人に置き換えれば、いろいろ絡み合ったことを整理して、新しい方向性を見だしていくことが干支の流れに沿ったことと言えるでしょう。

今年の当事務所の取り組み

① お客さまの手間を省く

最近はどのお客さまでも人手不足となって

います。私どもでは、できるだけお客さまの手間を省けるようにしていきたいと考えております。事務的なところで、こういうところが省けないかというようなことがありましたら、担当者にご相談下さい。

② 消費税増税への対応

今年10月には消費税増税が予定されています。これに対応して、仮決算などを行う必要が出てきますので、その打合せなどをしっかり行っていきます。また、消費税増税に合わせて軽減税率の適用が予定されていますが、そのチェック方法についても、打合せさせていただきたいと考えております。

③ 事業承継税制への取り組み

昨年改正されました事業承継税制について、事業承継計画書を順次策定していきたいと考えております。また、これを適用するための準備についても必要なところは進めていきます。

④ わかりやすい決算・月次資料の作成

現状の月次あるいは決算の説明資料の改善に取り組んでおります。順次、みなさまのところに持ちたいと思います。

こうしたことに取り組んでいきますので、今年も何卒よろしく願いいたします。また、お知り合いの方で税理士にお困りの方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介お願いいたします。しっかりと対応させていただきます。

それでは、今年がみなさまにとって、良い年となりますことをお祈りしております。

(以上)

参考文献

安岡正篤著『干支の活学』(プレジデント社刊)

干支歳時記(越玄さんのホームページ)

村上瑞祥さんのホームページ

吉方位・吉日さんのホームページ

ウィキペディア、各種年表など